

一般社団法人 恵那青年会議所

2023年度 基本資料

目次

2023年度	理事長基本方針 越智 信行	1
	理事長所信	2
2023年度	一般社団法人恵那青年会議所 役員委員会組織構成図	6
2023年度	一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール	7
2023年度	一般社団法人恵那青年会議所 役員名簿	8
2023年度	出向者一覧	9
2023年度	賛助会員名簿	9
2023年度	副理事長・専務理事 基本方針	10
	副理事長 山田 浩誠	10
	副理事長 保母 達則	10
	専務理事 中垣 博貴	11
2023年度	委員会基本方針及び事業計画	12
	青少年育成推進委員会 委員長 山本 悠介	12
	事務局 事務局長 樋口 豪	14
	会員拡大・アカデミー実行委員会 実行委員長 柄澤 一樹	16
	地域連携特別実行委員会 実行委員長 保母 達則	18
2023年度	担当監事割振り表、クラブキャプテン名簿	20
2023年度	一般社団法人恵那青年会議所 委員会職務分掌	21
2023年度	正味財産増減補正予算書	22
	一般社団法人恵那青年会議所 歴代理事長	24
	社団法人 恵南青年会議所	26

2023年度 理事長基本方針

一般社団法人 恵那青年会議所
2023年度 理事長 越智 信行

一般社団法人 恵那青年会議所 2023年度 スローガン



きっとそこにある
～景色はかわる～

基本方針

- 【未来へ向けた青少年育成】 ～故郷を託す子供達へ～
- 【魅力ある人財の育成】 ～より良い社会創造を目指して～
- 【戦略的広報活動】 ～認知・共感が組織を育む～
- 【持続可能な組織】 ～新たな仲間と未来を切り拓く～
- 【まちづくり×ひとづくり】 ～交流から生まれる展望～

理事長所信

【はじめに】

1958年5月10日、日本で145番目に恵那青年会議所は発足し、本年度で66年目を迎えます。当時、日本の青年会議所は、福祉国家を目指すことが「明るい豊かな社会」への挑戦であり、日本の再建を青年の使命としていました。恵那青年会議所も今日まで、先輩諸氏が決して歩みを止めることなく「明るい豊かな恵那市」を目指し、運動を展開してきました。一つひとつ築き上げてこられた実績があるからこそ、本年度も運動を展開することができます。熱い想いを受け継ぎ、敬意と感謝を忘れることなく、この足跡を未来へとつなげてまいります。

2020年11月、19年ぶりにJC宣言が改定されました。「日本の青年会議所は、希望をもたらす変革の起点として、輝く個性が調和する未来を描き、社会の課題を解決することで、持続可能な地域を創ることを誓う」へ変更となり、新たな時代への挑戦が始まりました。この転換期に我々の組織も時代に合わせ、現在だけでなく未来へ向けて誰もが挑戦できる組織へと変化する必要があります。良いものや足りないものを積極的に導入し、時代に合った組織となることで魅力が増し、魅力が増すことで新たな仲間や、より効果的な運動の展開へつながると確信します。しかし、変わらないものがあります。それは、「恵那市を良くしよう」という高い志です。この根幹は決して変わりません。この共通理念を掲げ、一人ひとりが目的を達成するべく率先して行動することが大切です。行動とは考えることから始まります。常にまちを想い、考え、挑戦し、歩みを止めないことが我々の使命であることを共有し、運動を展開してまいります。JCだから、JAYCEEでしかできないことを、同じ志をもつ会員とともに、全員で取り組んでまいります。

【未来へ向けた青少年育成】 ～故郷を託す子供達へ～

我々の故郷の子供達はかけがえのない地域の宝であり、いつの時代も未来に希望をもたらす存在です。そして、子供達の明るさや笑顔、好奇心や探求心、元気で活発な姿、自由な発想や閃き、すべてに夢と希望が溢れています。しかし、時代の移り変わりとともに、自然環境の変化や治安に対する考え方、習い事や遊び方、進学や就職など子供達を取り巻く生活環境も多岐にわたり変化し、時間や場所、行動などが制限され、子供達が伸び伸びと、自身の思い描く未来へ向け、夢や希望を持ち続けることが難しくなってきたのではないのでしょうか。

時代が変わったからこそ、我々は時代に合わせ、無限の可能性を秘めた子供達が健全にたくましく成長する機会を提供することが必要だと考えます。時代を問わず子供達は、様々な体験と経験をすることにより柔軟な発想が生まれ、そして閃き、創意工夫をすることで、自主性や自発性が伸び、自立へとつながっていくと考えます。次代の恵那市を担う子供達は、まちにとって希望そのものです。その子供達が自由に未来を描けることがとても大切です。この変化の激しい社会を生き抜く力を備えることは子供達自身にとって、より未来の可能性を広げられ、夢をつかむための成長へとつながり、自らの手で道を切り拓く力となります。その力は子供達にとってもこの地域にとっても重要だと確信します。恵那市の「明るい豊かな社会」の実現に向け、青少年の育成は、未来へ向けた人財育成として重要な運動の一つです。

【魅力ある人財の育成】 ～より良い社会創造を目指して～

我々はまちづくり団体です。しかし、誰でも初めからできるものではありません。先輩諸氏が長年にわたり築き上げてこられたノウハウによって構築され、裏付けられた確かな方法を受け継ぐことで、日々の運動を展開していくことができいております。さらに計画・立案・実行・検証、大きくこの4つのサイクルを繰り返すことで、その時、その時代にあ

ったものへと適応し事業を展開しています。しかし、我々はこの機会を淡々とこなすだけでなく、常に成長していく必要があるのではないのでしょうか。

より良いまちづくりを展開するためには、目的を達成するための能力を向上させ、さらにより良い運動を作ることができる力を持つ必要があります。できなかったことができるようになり、スキルアップしたものを駆使し、恵那市により良い影響を与えられる人財を育成する必要があると考えます。

一人ひとりの立場や環境、年齢や価値観、スキルや得手不得手は異なりますが、「まちを良くしたい」という共通理念のもと、個々の資質を向上させることは、恵那青年会議所の組織力の向上に直結し、より魅力ある団体へと成長できると確信します。魅力ある団体に属する人財に魅力がないわけがありません。魅力ある人財の運動は必ず地域により良い変化と機会をもたらします。まちづくりを実行するにあたり、自己成長・自己研鑽は欠かすことのできない取り組みです。

【戦略的広報活動】 ～認知・共感が組織を育む～

我々の情報発信もホームページをはじめ、ITの発達により優れたツールとして幅広い世代が活用するFacebook、InstagramなどのSNSを活用し、運動の情報を幅広く積極的に発信しております。しかし、その効果はどれだけの範囲に届き、どれだけの影響を与えているのでしょうか。

情報ツールの利便性が向上したことにより、いつでもどこでも情報を得られることができますが、それは個人が必要とする情報が多く、我々が発信したい情報を届けられているとは限りません。我々のネットワーク網を活用すれば、同志へのPRは容易いですが、本来届けたい相手は、地域に住まう市民や企業、市を管轄する行政、関係諸団体等です。しっかりとターゲットを絞り、その対象へ向けた効果的な宣伝方法を模索し、戦略的に広報をしていく必要があると考えます。

我々の届けたい情報を一番知っているのは我々です。ただ単に例会や事業の紹介がしたいわけではありません。その運動に一人でも多く認知・共感、参加をしてもらうことで、より良い影響を与え、伝播していくことも大切です。だからこそ会員一人ひとりが広告塔となり、情報発信のツールを活用しながら、対面で情報を提供し、伝えたいことを伝えていくことも重要です。一人ひとりがしっかりと運動を理解し、自身の言葉で発信することで、文字だけでは伝えきれない情報を届けられます。さらに、直接伝えることで、顔も団体も覚えていただくことにつながり、より多くの方に、認知・共感を得ることができると確信します。また、恵那青年会議所が展開する運動の情報により、認知・共感を得られることで、一人でも多くの市民を巻き込み、この地域により良い変化をもたらす同志を増やすことも、まちづくりの重要な要素の一つです。

【持続可能な組織】 ～新たな仲間と未来を切り拓く～

我々は「明るい豊かな社会」の実現に向け、故郷である恵那市が持続可能な地域となるよう運動を展開している中で、常に社会への奉仕が効果的にできるよう同志である会員とともに修練を積んでおります。しかし、個々が活動するには40歳までというタイムリミットがあります。この限りある中で多くの同志と出会い、スキルを学び、積極的に活動することが自己研鑽となり、我々自身が自己成長することで青年経済人としても地域のリーダーとしても資質を高めることができます。また、一人だけで成長することはできません。共通理念を持ち、切磋琢磨し、恵那市の未来を真剣に考え、多くの同志と情熱を持って取り組むことで魅力ある人財へと成長することができます。そして、我々が推進する事業が地域によりインパクトを与えるためにも、同志が必要です。同じ運動を展開するにしても一人でも多ければ、より大きな影響を与えることができます。そのためには会員一人ひとりがしっかりと運動の本質を理解し、常に魅力を磨き、同志や新たな仲間へ向けて発信していくことが必要だと考えます。

持続可能な地域を目指す我々は先ず、持続可能な組織であることが求められます。新しい仲間との出会いは、組織が新しい考えや力を得ることになります。その力は決して我々だけにとどまるわけではなく、恵那市に与える影響も大きくなります。魅力ある人財が魅力ある組織を作り、新たな仲間の拡大につなげ、持続可能な組織を目指します。

【まちづくり×ひとづくり】 ～交流から生まれる展望～

我々は恵那市の発展を目指し、ただ単独で運動をしてきたわけではありません。市民、企業、行政、関係諸団体等と積極的に関わり、これまで様々な運動を展開してまいりました。そしてその運動が、参加者やその関係者へ与えた影響は非常に大きく、地域の発展に寄与してきたと誇れるのではないのでしょうか。

今まで培ってきた地域との連携は勿論継続し、強固にしていく必要があります。しかし、これまでと同じで良いのでしょうか。恵那市には魅力ある企業や、団体が多くありますが、それだけでなく近隣の地域や団体も視野に入れ、より多くの関係を築き運動することができれば、さらに多くの方を巻き込み、大きな影響を与えられ、その結果、より一層まちづくりを推進できると考えます。

J Cには出向という機会があります。恵那青年会議所だけにとどまることなく、日本青年会議所や東海地区協議会、岐阜ブロック協議会へ出向し、まちづくりの方法や、その地域性や考え方など様々なことを他地域の同志とともに学び成長することは、まちづくりを行う我々にとって必要な人財育成の場となります。それだけでなく、我々はまちづくりのために様々な運動を展開しますが、井の中の蛙ではいけません。出向の機会を活かし、視野を広げ、他を知り吸収したものを取り入れることで、さらに恵那市に適した運動を展開することができると確信します。それぞれの会員が得た貴重な経験値は、まちづくりにもひとづくりにもつながり、必ず恵那青年会議所の糧となり、組織力の向上が魅力ある恵那市の創出へと導きます。

【結びに】

時代が変わりつつある昨今、ダイバーシティ、インクルージョンなどが推進されています。目指すべき姿も平等から公平へと変化しています。しかし、時代が変わったとしても変わらないことは秩序です。秩序とは普遍的なもの、変えてはいけないもので、それは目的です。我々の指す目的とは、「明るい豊かな社会」の実現です。この揺るぎない目的の達成を目指し、長期ビジョンであるJ C宣言と綱領、短期ビジョンである理事長所信を共通理念とし、運動を展開してまいります。また、秩序ある自由が実現できる環境を作ることが求められております。変えてはいけない部分と、変えても良い部分をしっかりと見極め、変えられるものは積極的に変えることで、より良い環境づくりを目指します。環境が良くなれば、議論が充実し、質の高い運動の展開へつなげると確信します。目的達成に向けた取り組みをより良くするために、魅力ある団体としての成長も目指し、恵那青年会議所も推進してまいります。

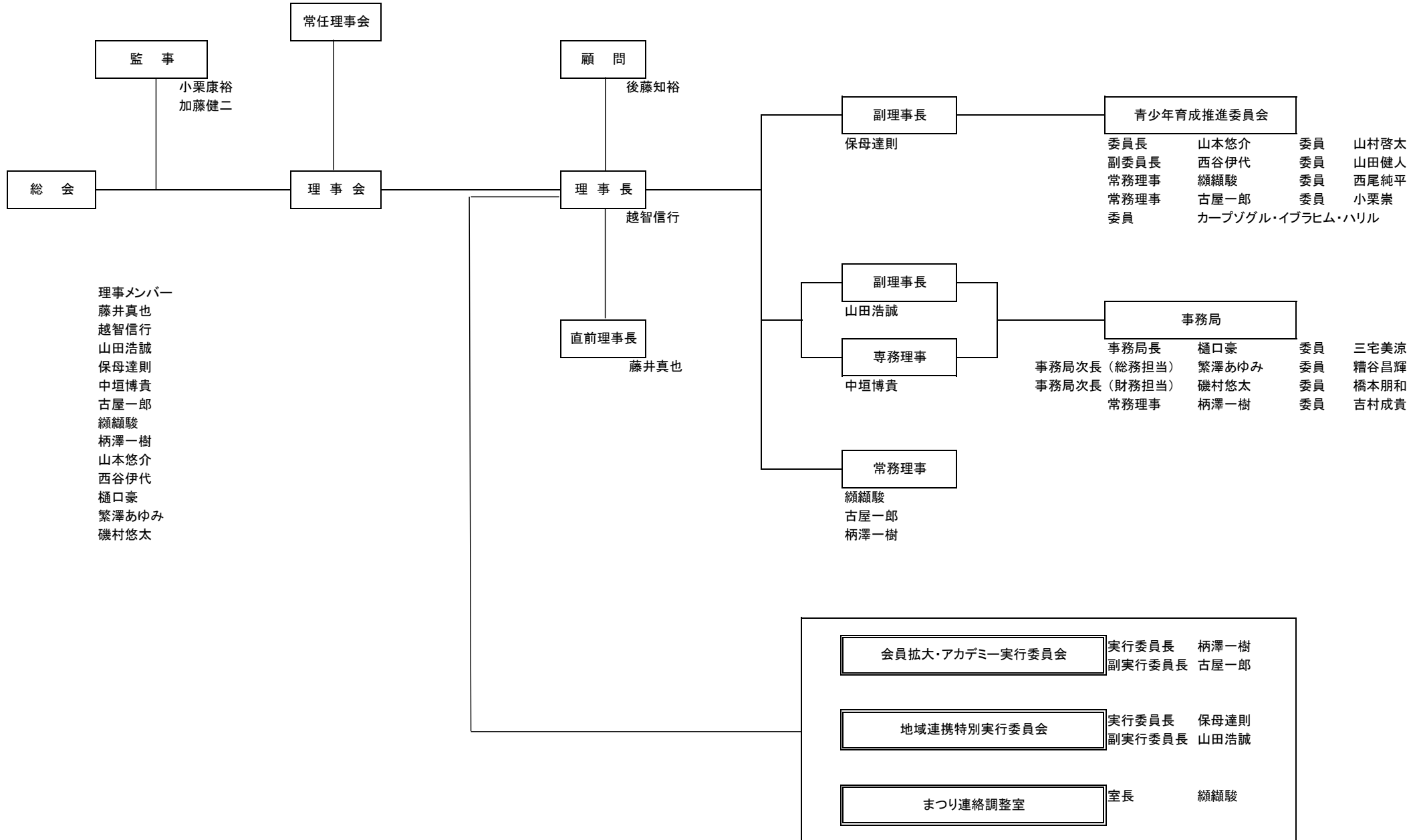
J Cは自己研鑽の場であります。しかし、会費を払えば何かをしてくれる団体ではなく、自分次第です。自ら様々な役職に挑戦し、目的を持ち、当事者意識を持つことで多くの仲間やスキルを手に入れることができ、手にした力はJ A Y C E Eとしてだけでなく、家庭や会社、地域で活かすことができます。また、在籍中に成長の機会は幾度とありますが、単年度制のため、2023年度の出会いや学びは二度とありません。自身の成長は、誰かが何かを与えてくれるのではなく、機会を逃さず自ら行動することでしか得られません。そして、会員一人ひとりが、同じ志を持つ仲間とともに行動し成長することは、個人の力だけでなく恵那青年会議所の力になります。我々はこの力を駆使し、恵那市により良い変化を与えられる団体の一員としての自覚を持ってまちづくりに取り組みます。

J Cだから、J A Y C E Eでしかできない魅力ある事業に取り組むことに誇りを持ち、果敢に行動をすることに自信を持ち、持続可能な地域を目指すことに気概を持って邁進し、

「明るい豊かな恵那市」の実現に向け、立ち止まることなく、一人ひとりの輝く個性を活かし、全員で一歩ずつ確実に歩んでまいります。

あなたが気づけば、きっとそこにある。
あなたが変わればきっと、景色はかわる。

さあ、今こそポジティブチェンジ



2023年度 一般社団法人恵那青年会議所 年間スケジュール

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
JCI 日本JC	第1回総会 21日(土) (京都) 京都会議 19日(木)~22日(日) (京都)		第2回総会 25日(土) (東京)		JCI ASPAC 10日(水)~13日(土) インドネシア (ジャカルタ)		サマーコンファレンス 22日(土)~23日(日) (横浜) 国際アカデミー 6日(木)~15日(日)			第3回総会 7日(土) (東京) 全国大会 6日(金)~8日(日) (東京)	JCI世界会議 14日(火) ~18日(土) スイス (チューリッヒ)	
東海地区協議会	第1回 会員会議所会議 20日(金)(京都)		第2回 会員会議所会議 25日(土)東京				第3回 会員会議所会議 8日(土) 東海フォーラム2023 8日(土)				第4回 会員会議所会議 20日(月)	
岐阜BC協議会	第1回 会員会議所会議 28日(土)(中濃)	岐阜会議 4日(土)(都ホテル) 会頭公式訪問 27日(月)(岐阜市内)	第2回 会員会議所会議 4日(土)(飛騨) 会員拡大セミナー 15日(日)(飛騨古川)	第3回 会員会議所会議 8日(土)(西濃)	第4回 会員会議所会議 13日(土)(東濃)			第5回 会員会議所会議 26日(土)(可児)	岐阜BC大会2023 2日(土)~3日(日)		第6回 会員会議所会議 19日(日)(大垣)	
例 会	7日(土)	21日(火)	10日(金)	10日(月)	10日(水)	9日(金)	10日(月)	10日(木)	8日(金)	10日(火)	11日(土)	9日(土)
青少年育成推進委員会			●			●			○			●
事務局					●				●		●	
会員拡大・アカデミー実行委員会			○	●		○	●	○				
地域連携特別実行委員会		●								●		
執行部	●							●				
例会及び事業名	通常総会	2月度例会	3月度例会 LOM内アカデミー 23日(木) 東濃会議 18日(土)(多治見)	4月度例会	5月度例会	6月度例会 LOM内アカデミー 22日(木)	7月度例会	臨時総会 LOM内アカデミー 24日(木)	9月度例会 9月度事業 17日(日) みのじのみ祭り祭 23日(土)~24日(日)	10月度例会	11月度例会	12月度例会 卒業例会
	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回
常任理事会	12月22日(木)	1月17日(火)	2月17日(金)	3月17日(金)	4月14日(金)	5月16日(火)	6月16日(金)	7月14日(金)	8月16日(水)	9月15日(金)	10月17日(火)	12月15日(金)
理 事 会	1月6日(金)	2月2日(木)	3月2日(木)	4月4日(火)	5月2日(火)	6月2日(金)	7月4日(火)	8月2日(水)	9月1日(金)	10月3日(火)	11月2日(木)	12月22日(金)

●・・・例会 ○・・・事業

2023年度 一般社団法人 恵那青年会議所 役員名簿

役 員	氏 名
理 事 長	越智 信行
直 前 理 事 長	藤井 真也
顧 問	後藤 知裕
監 事	小栗 康裕
監 事	加藤 健二
副 理 事 長	山田 浩誠
副 理 事 長	保母 達則
専 務 理 事	中垣 博貴
常 務 理 事	瀨瀬 駿
常 務 理 事	古屋 一郎
常 務 理 事	柄澤 一樹
青 少 年 育 成 推 進 委 員 会 委 員 長	山本 悠介
青 少 年 育 成 推 進 委 員 会 副 委 員 長	西谷 伊代
事 務 局 事 務 局 長	樋口 豪
事 務 局 事 務 局 次 長	磯村 悠太
事 務 局 事 務 局 次 長	繁澤 あゆみ
会 員 拡 大 ・ ア カ デ ミ ー 実 行 委 員 会 実 行 委 員 長	柄澤 一樹
地 域 連 携 特 別 実 行 委 員 会 実 行 委 員 長	保母 達則
ま つ り 連 絡 調 整 室 室 長	瀨瀬 駿

2023年度 出向者一覧

協議会名	委員会名称	役職	名前
東海地区協議会	とうかい号フィナーレ事業特別室	委員	瀬瀬 駿
東海地区協議会	世界に輝くTOKAI創造委員会	副委員長	古屋 一郎
岐阜ブロック協議会	組織連携推進会議	委員	山村 啓太
岐阜ブロック協議会	アカデミー委員会	委員	山田 健人
岐阜ブロック協議会	岐阜ブロック大会2023実行委員会	委員	西谷 伊代
岐阜ブロック協議会	2023年度事務局	委員	繁澤 あゆみ

2023年度賛助会員企業一覧

株式会社 恵那三洋製作所
株式会社 エナ重機
株式会社 銀の森コーポレーション
セントラル建設 株式会社
有限会社 それいゆ
株式会社 柘植建設
株式会社 デジタ
株式会社 東海技研
西山建設 株式会社
株式会社 丸河興業
株式会社 山本急行
吉村産業 株式会社

2023年度 副理事長・専務理事 基本方針

副理事長 山田 浩誠

恵那青年会議所が65年にわたって在り続けられたのは、青年会議所全体の共通理念である「明るい豊かな社会」の実現を追い求め、「恵那市を良くしよう」という先輩諸氏の高い志があったからこそです。我々はその志を受け継ぎ、恵那青年会議所をより魅力のある団体へ導かねばなりません。

そのためにはまず、我々自身が絶え間ない自己成長・自己研鑽を行うことで「人材」から「人財」へと成長することが肝要であります。そして魅力溢れる「人財」となった後、同じく魅力溢れる団体となった恵那青年会議所に共感する、新たな「人材」が集います。

年齢も職業も違う会員の多様性が尊重されることで個性が輝き、調和することで社会の課題を解決する力が結集され、持続可能な地域を創る原資となります。

その先に越智理事長が目指す「明るい豊かな恵那市」が広がっていると確信し、我々は一丸となって挑戦と成長をしまいにいます。

副理事長 保母 達則

恵那青年会議所は創立66年目を迎えました。これまで先輩諸氏が築き上げてこられた実績に敬意と感謝を表するとともに、我々は自由な発想で、時代に合わせた運動を展開していかなければなりません。自由は秩序とともにあります。「明るい豊かな社会」の実現という変わらない秩序の中で自由が実現できる環境を、我々のために、そしてこのまちの未来のために築いてまいります。

まちの未来を考える上で重要なことのひとつは青少年育成です。地域の宝である青少年が地域発展の役割を担える青年として成長を遂げた暁には、明るい豊かな社会の基盤となってこのまちの未来を担ってもらえることでしょう。

いつの時代も未来に希望をもたらす子供達が、健全でたくましく成長できるよう支援を注ぎ、何事にも常に前向きに取り組むことができる素晴らしい仲間とともに、我々のまちにより良い変化をもたらし続けていけるよう、全員で一丸となって行動してまいります。

恵那青年会議所がまちにより良い変化もたらすためには、会員一人ひとりが与えられた様々な役割に対して果敢に挑戦し、一歩ずつ歩みを止めることなく責任感を持って前向きに取り組むことで、JAYCEEとして成長するだけでなく、地域社会により良い変化をもたらすことのできる魅力ある人財へと成長しなければなりません。「恵那市を良くしよう」という志を共通理念とする我々は、まちを想い、考え、成長した全会員が個性や能力を最大限に発揮し、我々にしかできない魅力ある運動を展開していくことが必要不可欠です。

本年度、運動を展開していくにあたり、理事長が掲げられた所信を形にする組織の仲間全員が、輝く個性や能力を十分に発揮し、成長できる環境を事務局とともに整備してまいります。そして、我々の想いや情報を幅広く発信し、より多くの市民や行政、関係諸団体と連動したまちづくりを行うため、時代にあった魅力ある組織運営に努めてまいります。

2023年度 委員会基本方針及び事業計画

青少年育成推進委員会

委員長 山本 悠介

【基本方針】

多岐にわたる生活スタイルの変化により、人や地域との触れ合いが希薄になってきた今だからこそ、子供達は興味に向くままに様々な体験や経験を得て、自由な発想を發揮する場と、自主性や自発性を養う機会が必要であると考えます。

子供達は日常の興味や関心からささやかな挑戦を自ら試み、他者との遊びや関わりから、様々な学びを得て成長します。その成長は子供達の夢や希望となり、未来の可能性を広げ、夢をつかむための原動力になります。加えて、変化の激しい社会の中でたくましく成長するには、五感を使った体験を通して得た経験が必要不可欠であり、自らの手で未来を切り拓く力を持った主体性のある人財へと成長していくことが非常に重要ではないのでしょうか。

多様な好奇心を持って様々なことを体験し、自由に思い描く未来が夢や希望に溢れている青少年の育成は、恵那市の「明るい豊かな社会」の実現に必要であると確信し、運動を展開してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
3月度例会	3月10日 (金曜日)	恵那市内	子供達の「未来を切り拓く力」を養うために、主体性について学ぶことを目的とする。	40,000
6月度例会	6月9日 (金曜日)	恵那市内	子供達の「未来の可能性を広げる」ために、発想力について学ぶことを目的とする。	10,000
9月度事業	9月17日 (日曜日)	恵那市内	夢や希望につながる体験を通して、子供達の自由な発想を發揮する機会を提供することを目的とする。	350,000
12月度例会	12月9日 (土曜日)	恵那市内	卒業生へ感謝を伝え、卒業生の想いを引継ぎ、送り出すことを目的とする。	100,000
事業費合計				500,000

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	10月28日 (金曜日)	恵那市内	委員会方針・職務分掌について 会員拡大運動について
第2回予定者委員会	11月21日 (月曜日)	恵那市内	理事長所信について 委員会方針について 会員拡大運動について
第3回予定者委員会	12月15日 (木曜日)	恵那市内	事業計画について 3月度例会について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月11日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会について 会員拡大運動について
第2回委員会	2月7日 (火曜日)	恵那市内	3月度例会について 会員拡大運動について
第3回委員会	3月6日 (月曜日)	恵那市内	3月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第4回委員会	4月5日 (水曜日)	恵那市内	3月度例会決算について 6月度例会について 会員拡大運動について
第5回委員会	5月8日 (月曜日)	恵那市内	6月度例会について 会員拡大運動について
第6回委員会	6月5日 (月曜日)	恵那市内	6月度例会について 9月度事業について 会員拡大運動について
第7回委員会	7月5日 (水曜日)	恵那市内	6月度例会決算について 9月度事業について 会員拡大運動について
第8回委員会	8月7日 (月曜日)	恵那市内	9月度事業について 会員拡大運動について
第9回委員会	9月5日 (火曜日)	恵那市内	9月度事業について 会員拡大運動について みのじのみどり祭りについて
第10回委員会	10月5日 (木曜日)	恵那市内	9月度事業決算について 12月度例会について 会員拡大運動について
第11回委員会	11月7日 (火曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について
第12回委員会	12月4日 (月曜日)	恵那市内	12月度例会について 会員拡大運動について 次年度引継ぎについて

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

多種多様な人財が集う中で自己研鑽を積み重ね、個々の資質を向上させる中で、我々は先輩諸氏から受け継いだ教訓や、その時代、その場面に応じた手法を用いて事業を展開することは「魅力的な人財が集まる団体」の形成には欠かせません。その中で得られる経験は、積極的に運動に参加してこそ多く得られると確信しています。

また、我々の運動内容を戦略的に情報発信し、多くの方に認知・共感をしていただくことは、我々がまちづくり運動に励むための土壌を安定させるだけでなく、多くの方へ情報や運動内容が伝播し、多種多様な人財がさらに集いやすくなると考えます。

行政や地域の諸団体と連携するなど、事務局として円滑な組織運営を担うだけでなく、会員一人ひとりが積極的に運動に参加する機運を高め、それぞれの成長につながる機会を創出することを力強く推し進めます。そして、「魅力的な人財が集まるまちづくり団体」としての運動を、多くの方へ届けることをお約束します。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
5月度例会	5月10日 (水曜日)	恵那市内	会員が資質向上をすることで団体としての魅力を向上させることを目的とする。	50,000
9月度例会	9月8日 (金曜日)	恵那市内	本年の資質向上例会を通じ、さらに会員が成長し、団体としての魅力を向上させることを目的とする。	20,000
11月度例会	11月11日 (土曜日)	恵那市内	戦略的な情報発信により、恵那青年会議所の魅力を発信することを目的とする。	30,000
事業費合計				100,000

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月17日 (木曜日)	恵那市内	委員会活動方針について 年間スケジュールについて 職務分掌について。 通常総会について
第2回予定者委員会	12月20日 (火曜日)	恵那市内	通常総会について 京都会議について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月10日 (火曜日)	恵那市内	京都会議について 2月度例会について 3月度例会について 会員拡大運動について
第2回委員会	2月15日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 3月度例会について 5月度例会について 会員拡大運動について
第3回委員会	3月14日 (火曜日)	恵那市内	4月度例会(事業)について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第4回委員会	4月13日 (木曜日)	恵那市内	4月度例会(事業)について 5月度例会について 6月度例会について 会員拡大運動について
第5回委員会	5月8日 (月曜日)	恵那市内	5月度例会について 6月度例会について 7月度例会について 会員拡大運動について
第6回委員会	6月14日 (水曜日)	恵那市内	5月度例会決算について 7月度例会について 9月度例会について 会員拡大運動について
第7回委員会	7月7日 (金曜日)	恵那市内	7月度例会について 臨時総会について 東海フォーラムについて 9月度例会について 会員拡大運動について
第8回委員会	8月8日 (火曜日)	恵那市内	9月度例会について 臨時総会について 岐阜ブロック大会について 会員拡大運動について
第9回委員会	9月6日 (水曜日)	恵那市内	9月度例会について 11月度例会について 会員拡大運動について みのじみりの祭りについて
第10回委員会	10月12日 (木曜日)	恵那市内	9月度例会決算について 11月度例会について 全国大会について 会員拡大運動について
第11回委員会	11月8日 (水曜日)	恵那市内	11月度例会について 12月度例会について 会員拡大運動について
第12回委員会	12月12日 (火曜日)	恵那市内	11月度例会決算について 2023年度の総括について 次年度への引き継ぎについて 会員拡大運動について

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

明るい豊かな社会を目指し運動する恵那青年会議所は、組織自体が持続的であることが重要です。そのためには、新しい会員に絶えず加入いただくことが必要です。当実行委員会では、そうした同志との出会いの機会を絶えず創出することと、組織としての共通理念を持ち各会員が成長することのできる場を提供します。

会員拡大では、各会員が運動の方針を理解し適切に発信できるようになることを目指します。その上で出会いを広げれば、会員の拡大につながると考えます。組織の内部においては恵那青年会議所の果たすべき役割について、アカデミーを中心として共有し、組織の実行力を高めることに寄与します。またその効果を最大化するためにも、まずは各会員が運動へ参加いただくことを大切にし、その先導役を担ってまいります。

恵那青年会議所が魅力ある人財の団体であり続けるために、多様な人と人の関係性をベースにし、柔軟で力強い運動を展開してまいります。

【事業開催計画】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
会員拡大	通年	恵那市内	新しい同志に会い いただくことを目的と する。	0
LOM内 アカデミー	3・6・8月	恵那市内	恵那青年会議所の役 割や魅力を理解する ことを目的とする。	0
4月度例会	4月10日 (月曜日)	恵那市内	会員拡大について、各 会員が運動の方針を 理解できることを目 的とする。	50,000
7月度例会	7月10日 (月曜日)	恵那市内	組織としての共通理 念を各会員が理解で きることを目的とす る。	30,000
事業費合計				80,000

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月17日 (木曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第2回予定者委員会	12月20日 (火曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第1回委員会	1月10日 (火曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第2回委員会	2月15日 (水曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 4月度例会について
第3回委員会	3月14日 (火曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 4月度例会について
第4回委員会	4月13日 (木曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 4月度例会について
第5回委員会	5月8日 (月曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 7月度例会について
第6回委員会	6月14日 (水曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 7月度例会について
第7回委員会	7月7日 (金曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて 7月度例会について
第8回委員会	8月8日 (火曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有 LOM内アカデミーについて
第9回委員会	9月6日 (水曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第10回委員会	10月12日 (木曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第11回委員会	11月8日 (水曜日)	恵那市内	会員拡大について 会員拡大情報共有
第12回委員会	12月12日 (火曜日)	恵那市内	会員拡大総括 次年度引き継ぎについて

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【基本方針】

恵那青年会議所は創立以来、様々な運動を展開する中で行政や地域の諸団体と連携し、市民とともに地域社会の活性化に向けて尽力してきました。連携してきた行政や地域の諸団体との関係性は、今後も我々にとって大きな財産です。

未来に向けたまちづくりはこれからの人が行うものです。これまで培ってきた資産・資源を活かし、さらに視野を広げてあらゆることに意識を向け、良いものを吸収し、魅力ある恵那市の実現のために行動を起こしていかなければなりません。この気概を持って取り組めば、すぐそばにある景色もかわります。

本年度我々は、近隣地域の同志との交流を通じて、ともに成長する機会を創出します。また、さらに地域を広げ、より多くの多様な人々との関係を築き、新たに取り入れたものを我々の糧とし、このまちにとってより良い変化をもたらすことで、魅力ある恵那市を実現してまいります。

【事業開催計画(案)】

(単位：円)

事業名称	実施日	実施場所	事業目的	予算額
2月度例会	2月21日 (火曜日)	恵那市内	中津川青年会議所との交流を通じて絆を深めることを目的とする。	5,000
10月度例会	10月10日 (火曜日)	恵那市内	多くの人々との関係を築くことで、気付きを得ることを目的とする。	295,000
事業費合計				300,000

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

【委員会開催計画(案)】

委員会名称	実施日	実施場所	実施内容
第1回予定者委員会	11月21日 (月曜日)	恵那市内	委員会方針・職務分掌について 2月度例会について
第2回予定者委員会	12月15日 (木曜日)	恵那市内	2月度例会について 会員拡大運動について
第1回委員会	1月11日 (水曜日)	恵那市内	2月度例会について 会員拡大運動について
第2回委員会	2月7日 (火曜日)	恵那市内	2月度例会について 会員拡大運動について
第3回委員会	3月6日 (月曜日)	恵那市内	10月度例会について 2月度例会決算について 会員拡大運動について
第4回委員会	4月5日 (水曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第5回委員会	5月8日 (月曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第6回委員会	6月5日 (月曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第7回委員会	7月5日 (水曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第8回委員会	8月7日 (月曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第9回委員会	9月5日 (火曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第10回委員会	10月5日 (木曜日)	恵那市内	10月度例会について 会員拡大運動について
第11回委員会	11月7日 (火曜日)	恵那市内	10月度例会決算について 会員拡大運動について
第12回委員会	12月4日 (月曜日)	恵那市内	会員拡大運動について

※上記は予定であり、変更される可能性はあるものの、可能な限り具体的且つ、基本方針に添ってください。

2023年度 担当監事割り表

監事	小栗 康裕
	・事務局
	・地域連携特別実行委員会
	・執行部
監事	加藤 健二
	・青少年育成推進委員会
	・会員拡大・アカデミー実行委員会

2023年度 クラブキャプテン名簿

サッカー部	吉村 成貴
野球部	山田 健人
じゃがいも	古屋 一郎

一般社団法人 恵那青年会議所 2023年度委員会及び理事長直轄室職務分掌

1. 青少年育成推進委員会

- (1) 青少年事業の実施
- (2) 卒業例会の実施
- (3) 会員拡大運動の実施
- (4) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (5) その他

2. 事務局

- (1) 資質向上事業の実施
- (2) 諸会議の設営、運営、庶務（財務、コンプライアンス審査含む）
- (3) 諸会議における会議資料の作成、チェック及び取りまとめ
- (4) 基本資料の作成
- (5) 会員拡大運動の実施
- (6) (一社) 恵那青年会議所の広報記録活動
- (7) (一社) 恵那青年会議所の総務及び財務に関する一切
- (8) (一社) 恵那青年会議所が行うすべての事業に関する支援
- (9) その他

3. 執行部

- (1) 総会の開催
- (2) 理事長直轄室の支援
- (3) 会員拡大運動の実施
- (4) (一社) 恵那青年会議所の運営に関する一切
- (5) その他

4. 会員拡大・アカデミー実行委員会

- (1) 会員拡大運動の推進及び実施
- (2) LOM内アカデミーの開催
- (3) BCアカデミー委員会との連携
- (4) その他

5. 地域連携特別実行委員会

- (1) 地域連携事業の実施
- (2) その他

6. まつり連絡調整室

- (1) みのじのみのもり祭実行委員会との連携・連絡・運営の一切
- (2) その他

正味財産増減補正予算書

2023年1月1日から2023年12月31日まで

科 目 名	2023年度 予算 (案)	2022年度 第二次補正予算	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 特定資産運用益	0	0	0	
特定資産利息	(0)	(0)	(0)	
② 受取会費	3,300,000	3,470,000	△ 170,000	
正会員会費	2,880,000	3,050,000	△ 170,000	
基本金	(2,640,000)	(1,800,000)	840,000	120,000*22名
新入会員 ()	(0)	(710,000)	△ 710,000	
新入会員 ()	(0)	(0)	0	
新入会員 ()	(0)	(0)	0	
準会員会費	240,000	240,000	0	120,000*2名
2023年付加金(入会金)	(0)	300,000	△ 300,000	
2023年付加金(事業資金)	(0)	(0)	0	
特別会員会費	(60,000)	(90,000)	△ 30,000	30,000*2名(2022年度卒業生)
賛助会員会費	360,000	330,000	30,000	
個人	(0)	(0)	0	10,000*0名(2023年度)
法人	360,000	330,000	30,000	30,000*12名(2023年度)
③ 事業収益	0	0	0	
事業繰入収益	(0)	(0)	(0)	
登録料収益①	(0)	(0)	(0)	
登録料収益②	(0)	(0)	(0)	
登録料収益	(0)	(0)	(0)	
懇親会収益	(0)	(0)	(0)	
広告料収益	(0)	(0)	(0)	
販売収益	(0)	(0)	(0)	
預り金収益	(0)	(0)	(0)	
雑収益	(0)	(0)	(0)	JCIカード/スマイル
④ 受取補助金等	260,000	260,000	0	
国庫補助金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体補助金	(0)	(0)	(0)	
民間補助金	(0)	(0)	(0)	日韓親善協会
補助金等交付業務受託金	(0)	(0)	(0)	
国庫助成金	(0)	(0)	(0)	
地方公共団体助成金	(0)	(0)	(0)	
民間助成金	260,000	260,000	0	O B 会事務手数料※確定後補正にて反映
⑤ 受取負担金	0	0	0	
受取負担金	(0)	(0)	(0)	
⑥ 受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	(0)	(0)	(0)	
受取募金	(0)	(0)	(0)	
⑦ 雑収益	0	0	0	
受取利息収益	(0)	(0)	(0)	
その他雑収益	(0)	(0)	(0)	
⑧ 他会計からの繰入金	0	0	0	
日本 J C 本体会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・アソシエーション協議会からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
他会計からの繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常収益計	3,560,000	3,730,000	△ 170,000	
(2) 経常費用				
① 事業費	1,100,000		1,100,000	
事業費	1,100,000		1,100,000	
執行部	(50,000)	()	50,000	
青少年育成推進委員会	(500,000)	()	500,000	
事務局	(100,000)	()	100,000	
会員拡大・アカデミー実行委員会	(150,000)	()	150,000	
地域連携特別実行委員会	(300,000)	()	300,000	
① 事業費 (2022年度)	0	1,810,000	△ 1,810,000	
事業費	0	1,810,000	△ 1,810,000	
執行部	(0)	(50,000)	△ 50,000	
まりづくり委員会	(0)	(400,000)	△ 400,000	
働き方改革推進委員会	(0)	(300,000)	△ 300,000	
拡充・アカデミー実行委員会	(0)	(60,000)	△ 60,000	
地域活性化プロジェクト	(0)	(1,000,000)	△ 1,000,000	
委員会運営費	(0)	(0)	(0)	
事業予備費	(0)	(0)	(0)	
② 管理費	1,389,600	1,459,600	△ 70,000	
会議費	(61,600)	(61,600)	(0)	理事会 (€3,850×16回)
給料手当	(0)	(0)	(0)	
俸給	(0)	(0)	(0)	
手当	(0)	(0)	(0)	
臨時雇用賃金	(0)	(0)	(0)	
退職給付手当	(0)	(0)	(0)	
福利厚生費	(0)	(0)	(0)	
法定福利費	(0)	(0)	(0)	
福利費	(0)	(0)	(0)	
厚生費	(0)	(0)	(0)	
旅費交通費	(100,000)	(100,000)	(0)	
通信運搬費	(235,000)	(135,000)	100,000	新年祝賀会中止案内・年賀状・案内要否はがき
電話代	(120,000)	(120,000)	(0)	
運搬代	(0)	(0)	(0)	
その他通信費	(15,000)	(15,000)	(0)	十六銀行銀行データ通信費
減価償却費	(0)	(0)	(0)	
図書・研修費	(0)	(0)	(0)	
消耗品費	(100,000)	(100,000)	(0)	
リース料	(0)	(0)	(0)	
修繕費	(0)	(0)	(0)	
印刷製本費(基本資料)	(0)	(0)	(0)	
光熱水料	(0)	(0)	(0)	
賃借料	(726,000)	(726,000)	(0)	55,000*12 5,500*12
業務委託費	(60,000)	(60,000)	(0)	ホームページ管理委託費
保険料	(0)	(0)	(0)	
租税公課	(22,000)	(22,000)	(0)	法人県民税
固定資産税	(0)	(0)	(0)	
その他の租税公課	(22,000)	(22,000)	(0)	
広告宣伝費	(0)	(70,000)	△ 70,000	

渉外費	(50,000)	(50,000)	(0)	慶弔費・渉外費
支払手数料	(20,000)	(20,000)	(0)	
雑費	(10,000)	(110,000)	(△ 100,000)	理事長記念品費
管理・運営予備費	(5,000)	(5,000)	(0)	
③負担金	577,758	503,802	73,956	
日本JC会費JCI会費	(36,608)	(29,952)	(6,656)	36,608 (US\$13*128) *22名
日本JC会費基本金	(30,000)	(30,000)	(0)	50名まで 25名増加毎+15,000
日本JC会費附加金	(110,000)	(90,000)	(20,000)	5,000*22名
WE BELIEVE JCPress 購読料	(66,000)	(54,000)	(12,000)	3,000*22名
日本JC出向者負担金	(0)	(0)	(0)	
日本じゃがいもクラブ	(20,000)	(20,000)	(0)	
日本JC国際協力資金	(40,150)	(32,850)	(7,300)	365*5*22名
京都会議LOM登録料	(8,000)	(8,000)	(0)	
東海地区協議会 基本金負担金	(33,000)	(27,000)	(6,000)	1,500*22名
岐阜ブロック会費基本額	(18,000)	(18,000)	(0)	
岐阜ブロック会員附加金	(66,000)	(54,000)	(12,000)	3,000*22名
岐阜ブロック会費役員負担金	(0)	(0)	(0)	
岐阜ブロック会員大会負担金	(55,000)	(45,000)	(10,000)	2,500*22名
岐阜ブロック野球大会登録料	(30,000)	(30,000)	(0)	
岐阜ブロックサッカー大会登録料	(25,000)	(25,000)	(0)	
岐阜ブロックじゃがいも大会登録料	(10,000)	(10,000)	(0)	
わんぱく相撲ブロック大会負担金	(0)	(0)	(0)	
わんぱく相撲全国大会負担金	(0)	(0)	(0)	
全国JCサッカー大会登録料	(0)	(0)	(0)	
日韓親善協会	(0)	(0)	(0)	
中山道駅伝	(10,000)	(10,000)	(0)	
国際交流協会	(20,000)	(20,000)	(0)	
出向者への支援金	(0)	(0)	(0)	2023年度適用無
70周年記念事業への積立金	(0)	(0)	(0)	
④他会計への繰入金	0	0	0	
日本JC本体会計への繰入金	(0)	(0)	(0)	
消費税負担金	(0)	(0)	(0)	
外部監査負担金	(0)	(0)	(0)	
会計ソフト負担金	(0)	(0)	(0)	
その他繰入金	(0)	(0)	(0)	
地区・ブロック協議会への繰入金	(0)	(0)	(0)	
経常費用計	3,067,358	3,773,402	△ 706,044	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	
特定資産評価損益等	0	0	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	492,642	△ 43,402	536,044	
2 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
①固定資産売却益	0	0	0	
建物売却益	(0)	(0)	(0)	
構築物売却益	(0)	(0)	(0)	
什器備品売却益	(0)	(0)	(0)	
②固定資産受贈益	0	0	0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
①固定資産売却損	0	0	0	
②固定資産除却損	0	0	0	
什器備品除却損	(0)	(0)	(0)	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	492,642	△ 43,402	536,044	
一般正味財産期首残高	1,870,863	2,669,136	△ 798,273	
一般正味財産期末残高	2,363,505	2,625,734	△ 262,229	
II 指定正味財産増減の部				
①固定資産受贈益	0	0	0	
②基本財産評価益	0	0	0	
③特定資産評価益	0	0	0	
④基本財産評価損	0	0	0	
⑤特定資産評価損	0	0	0	
⑥一般正味財産への振替額	0	0	0	
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	2,363,505	2,625,734	△ 262,229	

2022年度期首残高			2022年度第2次補正時
正味財産期首残高 (内訳)	一般会計	1,157,344	1,157,344
	事業費予備費	0	0
		0	0
	周年準備金	1,511,792	1,511,792
貸借対照表参照 2021年12月31日 (現在)	合計	2,669,136	2,669,136

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和33年5月10日

認定番号第145号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

初	代理事長	昭和33年	中神 友彦	(株)丸河興業
二	代理事長	昭和34年	中神 友彦	(株)丸河興業
三	代理事長	昭和35年	中神 友彦	(株)丸河興業
四	代理事長	昭和36年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
五	代理事長	昭和37年	安藤 健一	(株)土田屋呉服店
六	代理事長	昭和38年	古田 忠好	
七	代理事長	昭和39年	阿部 龍輔	セントラル建設(株)
八	代理事長	昭和40年	中山銀次郎	東濃魚菜(株)
九	代理事長	昭和41年	鈴木銀之助	カクト本店
十	代理事長	昭和42年	三島 充	
十一	代理事長	昭和43年	松井 栄一	(株)菊水堂
十二	代理事長	昭和44年	山田 基	(株)マル五鐵構
十三	代理事長	昭和45年	近藤 時夫	近藤電気工業(株)
十四	代理事長	昭和46年	小嶋 洋平	(有)菊屋
十五	代理事長	昭和47年	熊崎 健一	
十六	代理事長	昭和48年	荒川 昇	
十七	代理事長	昭和49年	中山 義幸	
十八	代理事長	昭和50年	丸山 朝夫	(株)マルヤ
十九	代理事長	昭和51年	永屋 俊幸	(有)フジ
二十	代理事長	昭和52年	原 謙司	
二十一	代理事長	昭和53年	市川 賛平	恵那醸造(株)
二十二	代理事長	昭和54年	安藤 和雄	(有)賀藤
二十三	代理事長	昭和55年	佐藤 忠男	大東京火災海上保険代理店
二十四	代理事長	昭和56年	加藤 孝長	ヤマトヤ
二十五	代理事長	昭和57年	青山 貫禅	(株)青山
二十六	代理事長	昭和58年	小澤 隆徳	ダスキン恵那
二十七	代理事長	昭和59年	館林 正孝	(株)館林
二十八	代理事長	昭和60年	田中 義人	東海新栄電子工業(株)
二十九	代理事長	昭和61年	木藤 修	(株)中建
三十	代理事長	昭和62年	市川 康夫	市川康夫会計事務所
三十一	代理事長	昭和63年	山本 恵嗣	山本石油(株)
三十二	代理事長	平成 元年	岩本 哲臣	(株)岩本
三十三	代理事長	平成 2年	市川 雅敏	中部観光(株)
三十四	代理事長	平成 3年	金子 一弘	金子建築工業(株)
三十五	代理事長	平成 4年	西山 昌幸	西山建設(株)
三十六	代理事長	平成 5年	阿部伸一郎	セントラル建設(株)
三十七	代理事長	平成 6年	可知 照章	(株)エミ
三十八	代理事長	平成 7年	岩井 慶次	(有)centwave.com
三十九	代理事長	平成 8年	水野 勝	
四十	代理事長	平成 9年	阿部 護	セントラル建設(株)
四十一	代理事長	平成10年	柘植 孝彦	(有)柘植建設
四十二	代理事長	平成11年	小林 稔	(有)清進堂

一般社団法人恵那青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 33 年 5 月 10 日

認定番号第 145 号

スポンサー J C 一般社団法人中津川青年会議所

四十三	代理事長	平成 1 2 年	脇田 誠	(有)ベスト飲料
四十四	代理事長	平成 1 3 年	小林 浩司	(株)リード
四十五	代理事長	平成 1 4 年	丸山大八郎	(株)マルヤ
四十六	代理事長	平成 1 5 年	高木 應浩	東栄製紙工業(株)
四十七	代理事長	平成 1 6 年	山内 敏敬	(有)ヤマウチ
四十八	代理事長	平成 1 7 年	有賀 正典	
四十九	代理事長	平成 1 8 年	大野 幸泰	(株)大野工機
五十	代理事長	平成 1 9 年	木下 晃一	(有)木下建材工業
五十一	代理事長	平成 2 0 年	篠田 大作	(有)シノダック
五十二	代理事長	平成 2 1 年	渡辺 好作	(株)銀しゃり本舗
五十三	代理事長	平成 2 2 年	安藤 潤也	安藤鉄工(株)
五十四	代理事長	平成 2 3 年	板頭 拡志	ミリオン電工(株)
五十五	代理事長	平成 2 4 年	加藤 規久	(株)東海技研
五十六	代理事長	平成 2 5 年	吉村 将明	吉村産業(株)
五十七	代理事長	平成 2 6 年	河原 三次	(株)丸河興業
五十八	代理事長	平成 2 7 年	田口 勝一	(株)エナ重機
五十九	代理事長	平成 2 8 年	山本 英史	(株)山本急行
六十	代理事長	平成 2 9 年	市川 直樹	中部観光(株)
六十一	代理事長	平成 3 0 年	西山 陽祐	西山建設(株)
六十二	代理事長	平成 3 1 年	藤下 卓己	(株)デジタ
六十三	代理事長	令和 2 年	小栗 康裕	オグリ電子(株)
六十四	代理事長	令和 3 年	後藤 知裕	(株)ごとう観光
六十五	代理事長	令和 4 年	藤井 真也	(同)おひさま
六十六	代理事長	令和 5 年	越智 信行	(有)恵那冷機

社団法人恵南青年会議所
歴代理事長

創立年月日 昭和 39 年 3 月 29 日
認定番号第 286 号

初	代理事長	昭和 4 0 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
二	代理事長	昭和 4 1 年	松井 高志	(株)丸ス松井材木店
三	代理事長	昭和 4 2 年	横田 隆司	明知製陶(株)
四	代理事長	昭和 4 3 年	加藤 稔	(株)加藤材木店
五	代理事長	昭和 4 4 年	味岡蓮太郎	
六	代理事長	昭和 4 5 年	川村 達也	川村工務店
七	代理事長	昭和 4 6 年	梅村 哲郎	明知製陶(株)
八	代理事長	昭和 4 7 年	成瀬 郁夫	成瀬電気商会
九	代理事長	昭和 4 8 年	和田 光男	明智鋳業(株)
十	代理事長	昭和 4 9 年	横田 晴彦	(有)エーピーエフ
十一	代理事長	昭和 5 0 年	平林 利一	明栄建設工業(株)
十二	代理事長	昭和 5 1 年	奥田 隆一	オクダ時計店
十三	代理事長	昭和 5 2 年	三宅 均	(株)ヤマサ三宅材木店
十四	代理事長	昭和 5 3 年	西尾 和郎	丸上寒天産業(株)
十五	代理事長	昭和 5 4 年	松井 真	(株)丸ス松井材木店
十六	代理事長	昭和 5 5 年	小木曾琢二	マルコ醸造(株)
十七	代理事長	昭和 5 6 年	成瀬 恭平	高成化学鋳業(有)
十八	代理事長	昭和 5 7 年	吉村 典男	吉村産業(株)
十九	代理事長	昭和 5 8 年	春日井正章	山平鋳業(株)
二十	代理事長	昭和 5 9 年	伊藤 敏一	伊藤繁一商店
二十一	代理事長	昭和 6 0 年	遠山 哲雄	遠山材木店
二十二	代理事長	昭和 6 1 年	加藤 正波	丸美礦業(株)
二十三	代理事長	昭和 6 2 年	味岡 真治	アジオカ電気店
二十四	代理事長	昭和 6 3 年	伊藤 誠紀	(株)伊藤商会
二十五	代理事長	平成 元年	堀 泰明	(有)明智給油所
二十六	代理事長	平成 2 年	水野 良則	(有)銭坂畜産
二十七	代理事長	平成 3 年	伊藤 辰也	とうふのつねさ
二十八	代理事長	平成 4 年	三宅 秀明	三宅畳店
二十九	代理事長	平成 5 年	西尾 修欣	ライフエナジー山岡(株)
三十	代理事長	平成 6 年	桜井 義等	朝日屋
三十一	代理事長	平成 7 年	加藤 博靖	丸カ耐火工業(株)
三十二	代理事長	平成 8 年	加藤 博史	(株)加藤材木店
三十三	代理事長	平成 9 年	木村 典彦	丸八製材(株)
三十四	代理事長	平成 1 0 年	川村 慎二	川村工務店
三十五	代理事長	平成 1 1 年	岡村 英治	岡村司法書士事務所
三十六	代理事長	平成 1 2 年	小木曾康裕	カネイ産業(株)
三十七	代理事長	平成 1 3 年	藤本 勝彦	(有)藤本商店
三十八	代理事長	平成 1 4 年	西尾 健志	(有)山栄
三十九	代理事長	平成 1 5 年	堀井 宣良	岩村城址観光(株)岩村山荘
四十	代理事長	平成 1 6 年	成瀬 一	(有)成瀬電気商会
四十一	代理事長	平成 1 7 年	佐々木淳二	榊五寒天商会
四十二	代理事長	平成 1 8 年	成瀬 泰久	(有)高木クレール研究所